

保育時間の延長・対象年齢の拡大を

放課後児童クラブ小学6年生まで検討



鈴木 一夫 議員



放課後児童クラブ

預り保育および放課後児童クラブの時間延長、対象年齢拡大の可能性について

鈴木 共稼ぎ世帯が増え、核家族化も進んでいる。それに伴い保育時間の延長・対象年齢の拡大を望む声が多く寄せられている。

共稼ぎ世帯が安心して子どもを産み育てることができ、環境づくりを迅速に押し進めていただきたい。対応について具体的な見解を伺う

町長 本町の預かり保育の延長時間は、幼稚園が午後6時、あさひ保育園が午後7時まで対応しています。放課後児童クラブについては、町内4小学校で1年生から3年生を対象に午後6時まで実施しております。平成27年度からは、国の子ども子育て支援制度が改正され6年生まで対象拡大実施の方向で調整している状況です。また、時間延長につきましては、近隣市町村の延長時間状況等を参考に、ニーズに対応したいと考えております。

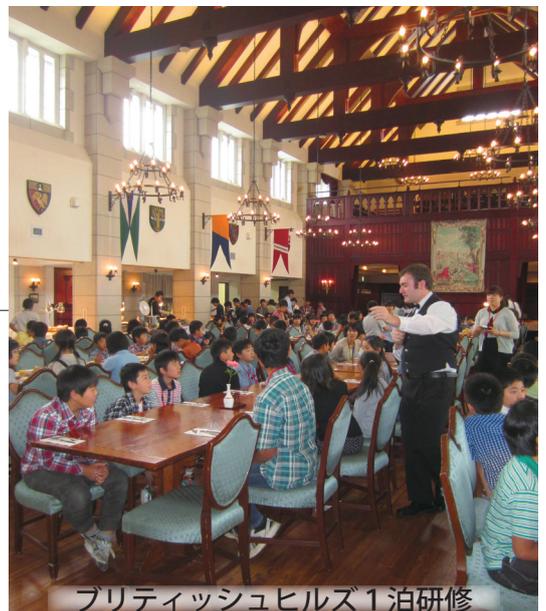
中一ギャップの解消について

鈴木 当面現行の4小学校体制が継続されていくことは小学校の改修計画からも窺い知れる。小規模校の子どもたちの不安を取り除き

中一ギャップに陥らないために、各小学校間の交流、小中連携の対策をさらに推し進めていただきたい。現状も含めて具体的な対応を求める。

町長 町としても、「中一ギャップ」に陥らないよう各小学校間の交流や連携に努めているところですが、毎年開催している「子供議会」においても「中学校へ進学するに当り不安がある」という声があり交流会等を望む要望がありました。こうしたことから、現在町は、6年生を対象に、ブリティッシュヒルズ泊2日研修を始め、中学校に町内4小学校の6年生を集めての夏期講習会等を開催しております。今後も交流の機会を増やすよう努めてまいります。

奨学金事業について



ブリティッシュヒルズ1泊研修

鈴木 経済的理由により教育格差が生じていることは多くのマスコミが取り上げるまでもなく顕在化している。

当町の奨学金事業の現況と認知度についてどのように把握しているのか。あわせて今後の方向性についても見解を伺う。

町長 町の奨学金制度は、昭和51年に「矢吹

町奨学金貸付条例」が制定されて以来、39年間にわたり、大学生71名、短大生7名、高校生16名の学問への志の道を応援しております。「奨学金の認知度」については、毎年「広報やぶき」3月号に募集記事を掲載し、4月1日から4月末まで申し込みを受け付けて参りました。また、福島県や日本学生支援機構等の奨学金についても併せて紹介をさせて頂いております。